

事業番号	09 04 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	
		実施期間	H17～	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	




1 現状と課題

長野県の園芸作物（果樹、野菜、花き、きのこ）は、県農産物総生産の約77%、(2,483億円/県全体3,243億円 令和2年農水省推計)を占める主要部門であり、レタス、りんご、カーネーション、えのきたけなど全国シェア上位品目をはじめ、質の高い多様な品目・品種がバランスよく生産されている。一方、生産者の減少や高齢化による生産構造の脆弱化の進行、連作障害の発生や天候不順の影響による作柄の不安定化、資材高騰等による生産コストの増加が課題となっている。

2 事業目的

県内で育成されたオリジナル品種や販売力の高い品目・品種の導入・拡大、スマート農業技術・環境にやさしい栽培体系の導入推進、規模拡大や生産効率化のための農業機械や集出荷施設等の整備により、競争力が高く、気候変動にも対応できる強靱な園芸産地を実現する。

3 事業目的を達成するための取組

<p>①果樹の早期多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル果樹品種の生産振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りんご・ぶどうの多収・省力化栽培技術導入に向けた研修会の開催 ・県オリジナル品種の生産拡大に向け技術習得や経営改善を支援 ・苗木生産や出荷の効率化を図る機械・施設の導入支援 	 <p>りんご高密度植栽培</p>
<p>②新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産技術の導入推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要花きにおける需要期安定出荷栽培技術の導入に向けた現地実証や技術習得の支援 ・主要花きや新規品目の生産性向上に向けた技術研修会の開催 	 <p>省エネ機器（ヒートポンプ）の検証</p>
<p>③施設果菜類等における増収技術や露地野菜における環境にやさしい栽培技術の普及推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質で安定的な野菜産地構築のためのモデルほ場設置、新技術・新品種の導入支援 ・環境モニタリング装置やアシストスーツの貸し出しによる施設園芸スマート農業技術の普及推進 ・使用済プラスチック削減や減化学肥料・減農薬に資する技術の現場実証を支援 ・化学肥料高騰の影響を受ける野菜農家の事業継続を支援するため、緑肥作物種子の購入費用を支援 	 <p>トマト養液栽培</p>

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	ぶどう産出額	億円	418	419	↗	470	↗	427	達成	第4期長野県食と農業農村振興計画における、ぶどうの産出額（令和5年度：427億円→令和9年度：453億円）の初年度である令和5年度は427億円を目標とする。	
②	主要花き産出額	億円	47	51	↗	52	↗	48	達成	第4期長野県食と農業農村振興計画における生産目標（令和5年度：48億円→令和9年度：49億円）の初年度である令和5年度は48億円を目標とする。	
③	施設果菜類等の増収技術導入面積	ha	238	256	↗	275	↗	245	達成	第4期長野県食と農業農村振興計画における達成指標（令和5年度：245ha→令和9年度：273ha）の初年度である令和5年度は245haを目標とする。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	★農業農村総生産額	億円	2021 (R3)	3,539	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,992 (県推計)	2027 (R9)	3,700
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上	果実産出額	億円	2021 (R3)	870	2022 (R4)	904	2023 (R5)	935 (県推計)	2027 (R9)	945

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	628,761	1,868,536	△ 1,416,224	1,081,073	52,950	1,025,209	3.1
R4年度	1,039,997	1,424,235	△ 213,683	2,250,549	54,628	1,492,382	3.1
R3年度	128,007	1,579,334	△ 254,767	1,452,574	53,618	388,380	3.1

事業番号	09 04 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	園芸総合対策事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課

7 主な取組実績と成果

①果樹の早期多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル果樹品種の生産振興

- ・技術者向けにりんご高密度植栽培の基礎セミナーを開催するとともに、栽培導入ガイドを作成し、生産者等への配布を行った。
- ・ぶどう「クイーンルージュ®」の栽培管理研修会を開催し、農業者が高品質なぶどうを生産していくための技術力向上を図った（5回、508名）。
- ・りんご高密度植栽培に必要なフェザー苗木生産にかかる薬剤散布機等の導入を支援した。



「クイーンルージュ®」収穫前管理研修会

②新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産技術の導入推進

- ・生産者、JA技術員、県関係者を対象とした高温対策技術の現地視察と研修会を開催し、技術の確認と情報交換を行った。
- ・課題解決のための技術実証を主要品目6課題、その他の品目12課題実施し、研修会で情報共有を行った。



高温対策「細霧冷房」の現地検討会

③施設果菜類等における増収技術や露地野菜における環境にやさしい栽培技術の普及推進

- ・品質向上を目的としたアスパラガス品質向上共進会を開催したほか、地域における適品種の選定を目的とした優良品種選定調査の実施を支援した。
- ・環境モニタリング装置の導入に向けた、施設園芸スマート農業研修会を開催したほか、JAあづみ夏秋イチゴ部会を対象とし、環境モニタリング装置のグループ利用に向けた勉強会・巡回等を行った。
- ・技術者を対象とした、緑肥作物の推進検討会の実施、生分解性マルチ検討会の実施及び減農薬・減化学肥料技術などの現地実証ほ（3か所）の設置を行った。



環境モニタリング装置のグループ勉強会

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	ぶどう産出額	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
技術者向けの栽培研修会や長野県ぶどうフォーラムにより、生産者の栽培意欲を高めるとともに、補助事業等により栽培に必要なぶどう棚資材の整備が進んだことで、R5年度もぶどう栽培面積が増加し、これが生産量の増加につながり、産出額も増加した。							
指標②	主要花き産出額	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
コロナによる行動制限が解除され、イベントが再開し、花きの需要が増加したことによる「単価高」になったことと、アルストロメリアの生産拡大、トルコギキョウの土壌病害からの回復により主要品目の生産量が増加したことで、産出額が増加した。							
指標③	施設果菜類等の増収技術導入面積	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
養液栽培マニュアルの策定や品質向上共進会、施設園芸スマート農業研修会の実施等により投資意欲が高まり、雨よけ施設及びスマート農業機器の導入面積が拡大した。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・ぶどう「クイーンルージュ®」の栽培面積が増加してきた一方で、着色不良等の栽培上の課題も浮き彫りとなってきている。さらなる栽培面積の拡大を図っていくためには、これらの課題の解決が必須である。
- ・花きにおいては、高温の影響による品質低下、燃油高騰による経営の圧迫が続いているため、高温対策技術、省エネ・低コストの生産技術の導入拡大が必要である。
- ・野菜では、夏期高温などの気象変化を踏まえ、生産安定や持続性の高い栽培体系への転換が求められている。
- ・各品目とも、生産者の高齢化や担い手の減少により、今後、将来的な農業経営体数・作付面積が減少することが見込まれる。産地を維持するためには、担い手の確保や経営基盤の強化、生産性・収益性の向上を支援する取組が必要である。

(2) 事業改善の方策

- ・ぶどう「クイーンルージュ®」の生産をより一層進めるため、地域ごとの課題解決や安定生産に向けた技術研修会を実施するとともに、雨よけ施設等の生産基盤を強化し、ぶどう産出額の増加を図る。
- ・花きでは、夏秋期の品質向上のための高温対策技術、省エネ・低コストの生産技術の検討と実証及び啓発を行い、生産者の経営向上と産出額の増加を図る。
- ・野菜では、スマート農業技術や雨よけ施設等による施設果菜類の増収技術の普及を図るとともに、露地野菜における緑肥作物や生分解性マルチ等の利用など環境にやさしい農業技術、自動収穫機等のスマート農業技術による省力技術等の導入を推進する。

事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	-----------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	信州農業生産力強化対策事業	51,182 千円	50,440 千円	47,240 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州農業生産力強化対策事業	補助金	多様な長野県農業の生産力を高めるため、新たな技術の現地への普及やマーケットニーズに対応した産地の育成に必要な機械・施設等の導入等を支援 実施件数：40団体	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	皆で取り組む園芸振興事業	3,105 千円	2,950 千円	2,950 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	果樹の多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル品種の生産振興	補助金	りんご高密度植栽培推進や、ぶどう「クイーンルージュ®」の普及促進に向けた研修会等の開催やモデル園の設置を支援 研修会・検討会の開催：13回	
2	新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産・流通技術の導入	補助金	カーネーション、トルコギキョウ等、主要切り花の需要期出荷量・品質等の向上に向けた実証ほの設置、検討会等による技術導入の支援 実証ほの設置：18か所	
3	グリーン栽培及び需要期出荷化等マーケットニーズに応じた野菜生産の推進	補助金	緑肥作物や生分解性マルチの実証ほ設置、施設果菜類を対象としたスマート農業機器に係る研修会等の開催、優良品種選定調査ほの設置等を支援 研修会・検討会の開催：13回	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	園芸産地強化対策整備事業	333,905 千円	1,321,257 千円	946,877 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	園芸作物産地基幹施設等の整備	補助金	精算・流通コストの低減や高品質で付加価値の高い生産・供給体制の確立等を図るため、野菜の集出荷施設や果樹のハウス等の整備を支援 実施地区数：6地区	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	スマート園芸普及加速化事業	188 千円	435 千円	999 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	スマート園芸技術の普及・取組支援	直接	スマート施設園芸技術の導入推進のため、環境モニタリング装置（みどりクラウド）の貸し出しや、スマート園芸セミナー・ワークショップを開催 みどりクラウド貸出数：5か所	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	グリーン園芸転換推進事業		- 千円	435 千円	3,647 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	環境にやさしい栽培技術の現地検証	補助金	環境にやさしい栽培技術（グリーン栽培）の推進のため、使用済プラスチック削減や減肥・減農薬に資する技術の現場実証を支援 実証か所数：3か所		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
6	化学肥料削減・緑肥転換緊急支援事業		- 千円	- 千円	23,496 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	化学肥料転換緊急支援	補助金	緑肥作物を活用した化学肥料削減の取組を行う農家に対し、協議会等を通じて緑肥種子費用を補助 緑肥種子支援面積：434ha		